



広報えびな

編集・発行
海老名市役所 広報広聴課
〒243-0492
神奈川県海老名市勝瀬175番地の1
☎(046) 231・2111
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>
*この広報は再生紙を使用しています。

理想のえびな実現に向けて

実施計画これまでの概要

市では、行政の基本方針である総合計画の中で、目指す将来都市像を「ゆとりと活力のあるまちえびな」と設定しています。この都市像の実現に向け、計画的に実行するため、3年ごとに実施計画を作成し、事業を進めています。総合計画でそれぞれの性質ごとに分けられた6つの部門について、事業進行度・解決すべき課題などをまとめました。今回は平成14年度の概要を中心に、現在の状況をお知らせします。

6部門別の進行と課題

I 健康福祉 都市部門

健康で生きがいにみちみちたまちを目標に、保健医療と福祉サービスの充実を始めとした計画を進めています。
小児救急医療は14年度に計画



子育て支援事業には同じ悩みを持つ若い親たちが集います

し、15年度から実施しました。精神障害者のサービスの充実には、精神障害者の方も身体・知的障害者の方と同様に14年度からホームヘルプサービス、15年度から医療費助成が受けられるようになりました。

課題の残ったものとして、成人検診が他の市町村に比べて受診率22・7%と低く、受診項目

の充実とともに受診率を高めることが必要です。

事業が進行し、新たに課題が生じたものとして子育て支援では、地域の子育てサークル育成の目標数35グループのところ40グループが達成され、これらを支えるボランティアの育成が必要になりました。また、高齢者

在宅福祉では、介護保険の非対象者で生活支援を必要とする方にホームヘルプサービスを提供しましたが、利用回数は前年度79回から1259回と大幅に増加しました。利用料金が介護保険対象者より安いいため、その均衡が必要で

II 教育文化 都市部門

心豊かな文化のおおきくを目標に生涯学習環境の充実や文化活動の促進を進めました。小中学校を対象にインターネットの導入、外国人講師の国際教室を全小学校で実施しました。また放課後、児童の遊び場を提供する「えびなあそびっこクラブ」が13年度の杉久保・今泉小に続き、有馬・杉本小の2校で開始しました。

中学校では全校に心の教室相談員を配置しました。今後は事業の充実が課題となっています。障害児教育では、杉久保小と柏ヶ谷中に特別指導級を設置。これで同級が設けられたのは、小学校で13校中9校、中学校で6校中5校になりました。全校での開級を目指します。

生涯学習では、市民のみなさんのサークル活動等が活発になったことで、発表の場である市民文化祭等で、展示会場などの不

III 快適環境 都市部門

安心して快適に暮らせるまちを目標に、環境に配慮した生活環境づくり・ごみ減量をはじめ、防災対策などにも注目し、計画を進めています。

「えびな環境展」の実施をはじめ、市民のみなさんによる環境活動も活発化し、太陽光発電、低公害車、雨水活用施設などの補助制度の利用も進みました。ごみの減量化では、分別収集が進み、1万1799ト(前年比965ト増)の資源が収集されました。また、ごみ50削減に向けて生ごみのバイオガス化の研究を進めました。

防災面では、避難所に障害者用仮設トイレを設置しましたが、防災マニュアルの作成などの課題が残っています。

交通・防犯では、15基の信号機新設など施設面の充実が図られ、15年度の上半期で前年度比約10%交通事故が減少。一方、海老名警察署と連携し、防犯活動を行いました。犯罪件数の減少には至りませんでした。

IV 生活拠点 都市部門

ゆとりのある住みよいまちを目標に、拠点となる海老名駅前整備や道路・公園・下水道といった都市基盤整備を進めています。

海老名駅東口自由通路は、14年4月から利用が始まりました。道路整備では、さがみ縦貫道路の開通が19年度に予定されて

V 産業複合 都市部門

地域経済に活力があるまちを目標に、産業と地域社会の共存の実現に向けた計画を進めています。

農業部門では、地域農業集団への支援、農業後継者団体活動の促進、市民農園・ふれあい農園の整備などを行いました。地場農産物の消費拡大では、道の駅などの他の施策の必要性が課題となっています。

商業面では、中心市街地活性化として「海老名スレミアム映画祭」「えびな・彩フェスタ」を14年度から開催し、多くの来場者がありました。また、中心市街地活性化計画では、事業実施主体の確立が今後の課題です。

VI 行財政の 推進部門

市民参加を念頭に置いた効率的な行財政運営を図ります。市民参加条例の策定準備を14年度に開始、本市に合った条例づくりを市民のみなさんとともに15



試験運行中のコミュニティバス

進行度95% | 積極的な広報も必要

報告書閲覧できます

今回お知らせした事業は一部ですが、市民生活などに関係の深い175事業をまとめた報告書を各コミセン・文化センターで閲覧が可能です。また市ホームページにも掲載しています。

問い合わせ

企画政策課(内282)

環境基本計画もご覧ください

快適環境都市部門でも環境基本計画の進行管理・評価を行っています。実施計画と同様に各コミセン・文化センターで閲覧が可能です。また市ホームページにも掲載しています。

環境保全課(内531)。

行政改革3年間(平成12~14年度)効果

項目	削減額
公共工事のコスト削減	4億3600万円
人件費の削減	3億5700万円
民間委託の推進	5300万円
補助金の廃止・削減	2700万円
その他の改革・改善	5800万円
合計	9億3100万円

年度から開始しました。

―関連では、ホームページの内容を一新し、アクセス件数が13年度の15万件から14年度50万件と急増しました。

行政改革では12年度から14年度までの3年間で約9億円、14年度単年では約2億円の経費削減が出来ました(右表参照)。行政改革は、財政的效果に加え、質の高いサービスの提供が最終目標であり、新たに「創造する」「挑戦する」を合言葉に職員の意識改革を目指しています。